

日本語研修コース（第84期・第85期）2021年度

佐藤 弘毅

1. コースの概要

名古屋大学国際機構国際言語センターの日本語研修コースは、これから日本の大学で学ぼうとする国費留学生を対象とし、6か月間の日本語研修を行う予備教育コースである。全くあるいはほとんど日本語を勉強したことがない学生を対象とする初級日本語特別プログラム（EJ コース）を基本とするが、近年すでに日本語を勉強したことがある学生も増えており、また専門の勉強を優先したい学生もいるため、短期留学生日本語プログラム（NP コース）や全学向け日本語プログラム（SJ コース）も選択でき、多様なニーズに配慮している。

2. 研修生

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、第84期日本語研修コースの受講生は、開始の4月時点で全員来日できていない状況であった。延期や参加取りやめもあり、最終的には例年よりも少ない9名が参加することとなった。すべて文部科学省より配置された大使館推薦の国費留学生であり、うち8名が名古屋大学に進学予定の研究留学生であり、その内訳は人文学研究科5名、工学研究科2名、国際開発研究科1名であった。それ以外の1名は愛知県立大学に進学予定の研究留学生であった。出身国は8ヶ国であった。すでに日本語の学習経験がある研修生もいたため、開講前にオリエンテーションをオンラインで行って参加希望クラスを聞き、必要に応じてプレースメントテストを行った。その結果、3名が初級のクラスを、6名が中級以上のクラスを受講することになった。なお、後述する時差の問題により、このうちの4名は来日後から授業に参加することとなった。しかしこのうちの3名は来日時期が6月後半以降となり、途中からの授業参加も難しくなったため、夏休みに2週間の特別なサマーコース（別の章で紹介する）に参加した。

さらにこのうちの1名は体調不良によりサマーコースへの参加もできなかったため、9月に個別に補習授業を行った。最終的に、2名が初級のEJコースに、4名が中級以上のNPコースに、2名がサマーコースに、1名が補習授業に参加した。

第85期日本語研修コースの受講生も、開始の10月時点で全員来日できていなかった。最終的に24名の受講生が参加することとなった。すべて文部科学省より配置された大使館推薦の国費留学生であり、うち18名が名古屋大学に進学予定の研究留学生であり、その内訳は人文学研究科5名、法学研究科4名、経済学研究科1名、医学系研究科1名、生命農学研究科3名、国際開発研究科2名、多元数理科学研究科1名、環境学研究科1名であった。それ以外の6名は愛知教育大学で研修を続ける教員研修生であった。出身国は20ヶ国であった。春学期と同じく、開講前にオリエンテーションをオンラインで行って参加希望クラスを聞き、必要に応じてプレースメントテストを行った。その結果、13名がEJコースの初級のクラスを、11名がNPコースの中級以上のクラスを受講した。なお、後述する時差の問題、および専門の勉強を優先したいという希望により、EJコースの2名が途中からSJコースの初級のクラスに移動し、NPコースの1名は専門の勉強を進める中で日本語を学習した。

3. コースの運営方針

先に述べた通り、第84期および第85期日本語研修コースの受講生は、開始時点で全員来日できていなかった。したがって、すべての日本語プログラムをオンラインで開講し、国から授業に参加できるようにした。一方で、国にいる間は奨学金を受給することができず、経済的な事由から授業や日本語の学習に時間を割くことが難しい研修生もいた。また、時差の問題から、多様な国から参加する本コースにおいて、すべての研修生が参加できる時間帯に授業を設定すること

は不可能であった。したがって、研修生の学ぶ権利を最大限保障しつつ、研修生に無理に参加を強制できないという事情にも配慮し、以下の方針でコース運営を行った。

- ①国からオンラインで授業に参加できる研修生は、参加する
- ②時差等の問題で参加できない研修生は、来日後からの授業参加を認める
- ③上記のうち来日が遅くなり授業に参加できなかった研修生向けに、夏休みに2週間の特別なサマーコース（別の章で紹介する）を開講する
- ④サマーコースにも参加できなかった受講生には、個別に補習授業を行う

以下では、EJ コースの初級のクラス編成、内容について報告する。

4. クラス編成

1日2コマ・週10コマ・15週間のコースとした。

第84期の授業は、2名しか参加者がおらず、クラス運営が困難な状況であった。そのため、今期限りの特例としてSJ コースの初級クラスの受講者の中から参加者を募集し、最終的に5名を加えた計7名の1クラス編成とした。専任教員1名、非常勤講師4名の計5名が担当した。

第85期の授業は、13名（最終的に11名）の1クラス編成とした。専任教員1名、非常勤講師4名の計5名が担当した。

5. 時間割と日程

第84期は2021年4月12日から2021年7月30日まで15週間の授業を行い、9月に修了式を実施するという日程とした。第85期は2021年10月4日から2022年2月2日まで15週間の授業を行い、3月に修了式を実施するという日程とした。

授業は月曜日から金曜日まで、午前8時45分から12時00分まで90分授業を2コマ行った

開講前にオンラインでオリエンテーションを行い、名古屋大学での日本語教育の全体像及び日本語研修コースの概要を説明し、その後、未習者には学習背景アンケート、既習者には受講プログラムを決定するためのインタビューとプレースメントテスト、さらに学

習背景アンケートも行った。

授業はすべてオンラインの同時双方向で行った。授業のお知らせ、教材の配布、課題の提出とフィードバックは名古屋大学のCMS（Course Management System）であるNUCTを使用し、同時双方向のセッションはテレビ会議ツールであるZoomまたはTeamsを使用した。授業開始前に、各回の授業内容やテレビ会議のアドレスなどについてNUCTの「お知らせ」に掲示し、受講者はそれを見て必要に応じて事前学習を行い、時間になったらテレビ会議に接続して同時双方向のセッションに参加した。

コースの途中ですべての受講者が来日できたが、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、授業は最後までオンラインで行った。

6. カリキュラム

主教材はA NEW APPROACH TO ELEMENTARY JAPANESE, Vols.1 and 2（西口光一著、以下NEJ）を使用した。Unit 1からUnit 24までを扱った。学習活動を大きく課外学習と授業内学習に分け、授業内学習はさらに評価対象活動とその他の活動に分類し、それらが視覚的に理解できるようにスケジュールを作成、配布した。

主な学習項目、NEJの各Unitの学習の基本的な流れは以下の通りである。○印は課外学習、●印は評価対象活動を示している。下記の表には1週間のスケジュール例を示す。

1) Hiragana / Katakana

● Hiragana Quiz / Katakana Quiz

担当教員が作成したオリジナルのシートを用いて行う。

2) Goal Description / Grasping Master Text

○ Listening / Understanding Section 1

各Unitの目標を示す。Section 1の音声を聞いてMaster Textの概要を把握する。

3) Section 1/2

Section 1のMaster Textについて、スライドを見ながら音声を聞き、パラレルリーディングの練習を行う。必要に応じて語彙や文法事項を確認する。その後、シャドーイング練習を行う。

Section 2はペアワークなどを取り入れながら、Section 1の内容についてのQ&A練習を行う。

- 4) Unit 1-6 Section 3/4, Unit 7-24 Section 2-4
語彙や文法事項の解説, 練習を行う。
- 5) ○ Unit 1-6 Section 5 / Unit 7-24 Section 1 Read Aloud Practice
● Unit 1-6 Section 5 / Unit 7-24 Section 1 Read Aloud
課外学習で読む練習を行う。授業内学習では1人ずつ読んで, 教師は評価とフィードバックを行う。
- 6) The Gist of Japanese Grammar / Grammar Practice Sheets
○ Review Grammar Practice Sheets / Writing Practice Sheet
● Grammar Practice Sheets-Quiz
文法の練習とクイズを行う。
- 7) Writing Practice Sheets (漢字)
○ Review Grammar Practice Sheets / Writing Practice Sheet

- Writing Practice Sheets-Quiz
漢字の練習とクイズを行う。
- 8) Essay Writing
Master Text をモデルに, 各自の事柄について作文を書く。
- 9) Essay Correcting / Essay Sharing
教師のチェックとフィードバックに基づき, 間違えた箇所について自己修正を行う。その後, 他の受講者と音読により共有する。
- 10) ● Show and Tell
いくつかの Unit の Essay をまとめた内容についてスクリプトを書き, 写真やスライドを各自で用意して発表する。その後, 教師は評価とフィードバックを行う。各期に計10回行った。
- 11) ● Test / Test Feedback
6つの Unit ごとに筆記テストを行う。各期に計4回行った。

Date / Period		Class Activity	Preparation for tomorrow
6月2日(水)	1st	● Unit 10 Grammar Practice Sheets-Quiz ○ Prepare Show & Tell Unit 9 ○ Unit 10 Essay Writing	○ Unit 10 Essay (due tomorrow)
	2nd	○ Unit 10 Writing Practice Sheets ○ Unit 11 Goal Description Grasping Master Text	○ Unit 10 Writing Practice Sheets ○ Unit 11 Listening Section 1-1, 2 ○ Unit 11 Reading The Gist of Japanese Grammar
6月3日(木)	1st	● Unit 10 Writing Practice Sheets クイズ ○ Unit 11 Section 1-1	
	2nd	○ Unit 11 Section 1-2 ○ Unit 11 The Gist of Japanese Grammar	○ Show & Tell Unit 9 ○ Unit 11 Reading Section 4 Verb Inflection ④
6月4日(金)	1st	● Show & Tell Unit 9	
	2nd	○ Unit 11 Section 3 Additional Practice (3) ○ Unit 11 Section 4 Verb Inflection ④ ○ Unit 11 Grammar Practice Sheets	○ Unit 11 Section 1 Read Aloud Practice

6月7日(月)	1st	<ul style="list-style-type: none"> ● Unit 11 Section 1 Read Aloud ○ Unit 10 Essay Correcting Essay Sharing ○ Unit 11 Writing Practice Sheets 	
	2nd	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 11 Essay Writing ○ Unit 12 Goal Description Grasping Master Text 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 11 Essay (due tomorrow) ○ Unit 11 Grammar Practice Sheets ○ Unit 12 Listening Section 1-1, 2
6月8日(火)	1st	<ul style="list-style-type: none"> ● Unit 11 Grammar Practice Sheets-Quiz ○ Unit 12 Section 1-1 	
	2nd	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 12 Section 1-2, 3 ○ Unit 12 The Gist of Japanese Grammar 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 11 Writing Practice Sheets ○ Unit 12 Section 1 Read Aloud Practice